

たなか ひで あき 田中秀昭



田中秀昭後援会会報No.1
発行責任者 大原一郎
平成21年7月5日発行

(部内資料)

地域が主体のまちづくりを目指します！

お互いの顔が見え、交流ができる、歩いて行ける身の周りの地域。これからは、この程度の範囲の「地域」が主体となるまちづくりが大切です。

お祭り、盆踊りなどを通じて地域交流を図り、身近に地域の歴史・文化を感じ、郷土愛を育みます。

そして、子育て、教育、高齢者医療・介護など、地域住民が積極的にかかわる住民主役の新しいまちづくりを目指します。

後援会事務所 柏原市平野2丁目10-12 <http://tanakahideaki.jp>
TEL・FAX 072-971-5220

1 健康増進と子育て支援の充実

- ①市立病院のさらなる充実、緊急時の医療に充分対応できるようにします。
- ②市民が体力づくりに利用できる施設整備・環境整備に努めます。（「サンヒル柏原」の有効利用など）
- ③高齢者の「生きがいづくり」や「健康づくり」を支援します。
- ④子育て支援事業の充実を図ります。乳幼児医療費の助成の範囲を拡大します。

2 安全安心のまちづくり

- ①恩智川の環境改善
- ②恩智川法善寺遊水地を公園として整備
- ③旧国道170号の歩道設置事業の早期実現
- ④通称「桜道」（本郷・平野線）をフラワーロードとして整備
- ⑤高尾山創造の森を中心に里山再生

3 教育環境の改良、充実

- ①学力向上の推進は勿論のこと、教育本来の目的を達成できる環境整備に努めます。
- ②校庭の芝生化に加えて、学校の周辺を広葉樹の森で囲みます。

4 議会改革を断行（議員定数と議員報酬の見直し）



田中秀昭後援会設立総会
(平成21年5月30日)

ご挨拶

田中秀昭後援会会長
大原一郎

梅雨の候、蒸し暑い毎日が続いておりますが皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。ご健勝を心からお祈り申し上げます。

さて、田中秀昭後援会は、去る5月30日の設立総会を経て力強く発足いたしました。今後、田中秀昭君の活動を全面的に支援してまいります。皆様方の温かいご理解・ご支援をお願い申し上げます。

田中秀昭君は、「行政は人を思いやり、人を大切に行うべき」と主張し、「いのちと健康を守る市政」の実現を目指し、大きな目標に向けて日夜頑張っております。このたび、後援会会報第1号をお届けいたします。お読みいただきまして、皆様方のご意見をいたただければ大変ありがたいと存じます。

皆様方のご隆昌を心からお祈り申し上げ、田中秀昭君に対しまして、末永くご支援賜りますようお願いを申し上げます。

いのちと健康を守る行政サービスの向上

1 健康増進と子育て支援

住民が日常的に健康管理に意識を持ち、気軽に利用できる健康増進施設の整備などに努めます。また、お年寄りがいつでも元気で安心に暮らせるよう、高齢者の生きがいづくり、健康づくりのお手伝いを充実させます。

①市立病院をさらに充実させ、緊急時の医療に充分対応できるようにします。さらに日ごろから病気にならない心構えなど日常的な健康指導や医療相談ができるような医療機関を目指します。

②高齢者の健康的な日常生活を積極的に支援する意味からも、「ほのぼのかたしも」や地域の集会所などをを利用して、文化教室や健康教室を開催し、「生きがいづくり」や「健康づくり」を支援します。



③若いお母さん、お父さんが安心して子育てできるよう、ほっとステーション、スキップKIDSなどの子育て支援事業の充実を図ります。また乳幼児医療費の助成の範囲を拡大します。

2 安全安心の町づくり

①恩智川の環境改善

夏場に害虫（ユスリカなど）が発生し、悪臭が発生する恩智川の改良は急務です。種々の対策工事を行われており、現在2本の井戸が設置され、また川床の改良なども行われておりますが、根本的な解決には至っておりません。



恩智川は一級河川であり災害時の危険回避が第一義ですが、地域の真ん中を流れる川であり、単なる排水路ではありません。「里川」という考え方を取り入れた対策・改善が必要ではないでしょうか。階段や川辺の通路などを設置して、地域の皆さんに親しめる環境に改善するよう働きかけていきます。

②恩智川法善寺遊水地を公園として整備

大阪府が災害対策として進めている恩智川法善寺遊水地事業は、地権者のご協力で土地買収は90%以上進

でいます。平成24年度には部分供用が見込まれておりますが、その遊水地の利用について検討を進めていかなければなりません。

大東市の深北緑地内にあるような、平常時は市民の憩いの場となる公園として、そして大雨が降ったときは流域の洪水災害を防ぐための遊水池に大変身するという、公園と防災を兼ね備えた施設に整備するよう働きかけていきます。

③旧国道170号の歩道設置事業の早期実現

すでに、大阪府都市計画道路整備の一環として、土地買収や部分整備が進んでおりますが、早期実現を要望します。そして、地域を縦貫する道路として、交通量の増加に備え、何よりも住民の安全を確保するよう交通の規制や安全施設の整備を大阪府や警察に働きかけていきます。



④通称「桜道」(本郷・平野線)をフラワーロードとして整備

法善寺橋から平野交差点、通称「桜道」の整備は、ほぼ完成ですが、地域の中心道路として「桜道」に変わることで、市民参加の「フラワーロード」に整備していきたいと考えます。



3 教育環境の改良と充実

柏原市が提唱する「『かしわらっ子』はぐくみ憲章」を推進するため、地域・家庭と学校（幼稚園・保育所・小学校・中学校）がスクラムを組んで、子どもたちが落ち着いて安心して学べる環境づくりを目指します。

校庭の芝生化に加えて、学校の周辺を広葉樹の森で囲みます。森は二酸化炭素を吸収し空気の浄化に役立ちます。いわば「いのちの森」の中で勉学する環境整備を行います。

4 議会改革を断行

行政のコンパクト化は必要であり、議員定数と議員報酬の見直しをなくして、財政再建は成しえないと考えています。